

3月23日のウクライナ情報

安齋育郎

(1)ウクライナでの戦闘初日のフランス傭兵(2024年3月20日)

<https://twitter.com/i/status/1770181544860168572>



https://twitter.com/yakiimo_2022/status/1770181544860168572?s=09

(2)ウクライナ動員将校による残虐行為(2024年3月18日)

投稿者コメント:男性がバスから暴力的に引きずり下ろされる。これが現代のウクライナです。恐ろしい国。終わりのない悪夢。しかし、ハリコフは間もなくナチスから解放され、住民は自由になるだろう。

<https://twitter.com/i/status/1769696270593990899>



<https://twitter.com/Monmi0614/status/1769696270593990899?s=09>

(3)「韓国国防大臣はキエフの「ブチャでの虐殺」について疑問を呈した — RIA Novosti(2024年3月20日)

※安齋注:ちょっと「周回遅れ」の感はありますが、日本の政治家よりまだいいか。

シン・ウォンシク氏は「ロシアの『ブチャ虐殺』に関しては、明らかに事実としてまだ確定していないため、私が評価するのは不適切だ」と述べた」



https://twitter.com/yakiimo_2022/status/1769800468304212104?s=09

(4)各国首脳がウラジーミル・プーチン大統領に祝意を送る(2024年3月18日)

ウラジーミル・プーチン氏は、3月15日から17日にかけて行われた大統領選挙でロシア国民の大多数の支持を得た。投票用紙の99.1%を処理した結果によると、有権者の87.33%が現大統領に投票した。

説得力のある勝利に対して、キューバ政府、北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長、ホンジュラスとニカラグアのシオマラ・カストロ大統領とダニエル・オルテガ大統領、ウズベキスタンのシャフカト・ミルジヨエフ大統領、そして各国首脳(タジキスタン、ボリビア、ベネズエラ)からプーチン大統領に祝意が送られた。

ボリビアのルイス・アルセ大統領は、この結果を「主権と絶え間ない発展をめぐる勇敢なロシア国民の団結が確認された」と述べた。

「プーチン大統領は西側の集団帝国に対する戦争に完全に勝利した。これはロシア人の価値観の実証だ」とベネズエラの指導者ニコラス・マドゥロ氏は述べた。

タジキスタンのエモマリ・ラフモン大統領からの電報は、「(プーチンの)高い政治的権威と、国家路線に対するロシア社会による広範な支持」が確認されたことについて語っている。

さらに、モルドバからは、ガガウジア党首のエフゲニア・グツル氏と野党復興党のナタリア・パラスカ党首からプーチン大統領の勝利を祝福された。

教皇フランシスコはバチカンから祝意を伝えた。



<https://twitter.com/Monmi0614/status/1769679606133772586?s=09>

(5) 欧州議会議員 @MJRLdeGraaff が、ウクライナについての真実の爆弾を投下 (2024年3月17日)

” ウクライナは、小児性愛者ネットワーク、人身密輸、臓器売買のための子どもの最大の供給国である ”

<https://twitter.com/i/status/1769701516146036784>



<https://twitter.com/ShortShort News/status/1769701516146036784?s=09>

(6) ゼレンスキー、自国民を裏切る | ニコライ・ペトロ博士(2024年3月18日)

西側が自らの非現実的な道徳的傲慢に捕らわれている中、ロシアとウクライナの間で平和を築くチャンスが何度も見逃されています。現時点で最大の障害は、西側が戦争を推し進めることを正当化するために自らに語りかけている根拠のない神話です。

ニコライ・ペトロはロードアイランド大学の政治学教授で、「ウクライナの悲劇:古典的なギリシャ悲劇が紛争について教えてくれること」という素晴らしい作品を出版しました。

彼は最近、「ウクライナでの平和を妨げている 4 つの神話」という短いエッセイを発表しました。私

私たちはそれについて話し合いたいと思いますし、後で軍事状況の変化についても議論したいと思います。これは、ロシアの能力についての西側の物語が変わりつつあることを示しているようです。

<https://youtu.be/inSedSRA1ls>



<https://www.youtube.com/watch?v=inSedSRA1ls>

(7) ハーイテン大統領の記憶力低下 元特別検察官が議会で証言(2024年3月16日)

バイデン大統領の機密文書の取り扱いをめぐり、検察当局は先月、バイデン大統領の記憶力の衰えなどを理由に有罪にするのは難しいとする報告書を発表しました。

12日、この報告書を作成した元特別検察官が下院司法委員会で証言、民主共和両党の議員から厳しい質問を受けました。

12日、火曜日、バイデン大統領の機密文書問題を担当し不起訴の判断を下したロバート・ハー元特別検察官が米下院司法委員会に出席し、報告書の内容や判断の正当性などを述べました。

ロバート・ハー元特別検察官「私たちはバイデン氏が副大統領職を終え、民間人だったときに機密資料を意図的に保持していた、という証拠を特定しました。しかし、疑惑を超えたレベルの達した証拠は特定できませんでした」

訴追の見送り決定は、バイデン大統領、そして民主党にとっては良い結果でしたが、報告書では、バイデン大統領が、「同情や善意があるが記憶力が弱い低い老人」と描写、民主党議員の怒りを買いました。

ロバート・ハー元特別検察官「報告書の中の大統領の記憶に関する私の評価は、必要かつ正確かつ公正なものでした。私は説明を脚色していません。また、私は大統領を不当に軽蔑したわけでもありません」

しかし、「老人」「記憶力低下」という描写は、政治的に大きなインパクトを与えたと議員は主張しました。

アダム・シフ下院議員(民主党、カリフォルニア州)「この表現が政治的な炎上を引き起こすとは理解できませんでしたか？」

ロバート・ハー元特別検察官「政治的な炎上といった判断は、捜査に全く関与しないものです」一方、共和党は、不起訴という判断がは、相手が「老人」というだけで成されるのはおかしいと訴えま

したす。

トム・マクリントック下院議員(共和党)「バイデン大統領は老人で、記憶力が乏しい同情的な人物という指摘は、個人が有罪か無罪かに関係しますか？それは裁判官か陪審が判断する問題ではないですか？」

民主党側は、バイデン大統領は、同じく機密文書問題で捜査を受けるトランプ前大統領との違いを指摘しました。

テッド・リ्यू下院議員(民主党)「バイデン大統領が司法妨害に関与しましたか？」ロバート・ハー「いいえ」

テッド・リ्यू下院議員(民主党)「バイデン大統領が隠蔽工作に関与していましたか？」

ロバート・ハー「いいえ」

しかし民主党議員が、報告書は、大統領の無罪を証明すると発言すると、ハー氏は、それを否定しました。

プラミラ・ジャヤパル下院議員(民主党)「この長期でコストをかけた独立捜査の結果、バイデン大統領は完全に無罪となる結果となったということですね」

ロバート・ハー「報告書で『無罪』という言葉は使っていないはず。報告書にある言葉を使用してください」

プラミラ・ジャヤパル下院議員「まだ質問は続いています」

ロバート・ハー「(無罪の判断は)私の仕事ではない」

プラミラ・ジャヤパル下院議員「質問しています」

ロバート・ハー「証拠は存在しました。有罪の可能性もあります」

プラミラ・ジャヤパル下院議員「あなたは大統領の容疑を晴らしたんですよ」

ロバート・ハー「私は彼を無罪としていませんし、報告書にも書いていません」

プラミラ・ジャヤパル下院議員「私の発言時間ですもう結構です」

「老人」や「記憶力低下」など、今後大統領選を戦っていく人物の描写としては、マイナスイメージの報告書でしたが、民主党としては、バイデン大統領の疑惑やスキャンダルを早期に決着し選挙戦に向かいたい、というのが本音のところ。す。

一方、共和党側はこの問題の調査を続けており、ハー氏の聞き取りを記録した動画へのアクセスを求めています。

<https://youtu.be/rLyrDiby1Q>



<https://www.youtube.com/watch?v=rLyrDiby1Q>